

# パーム油産業の抱える環境問題に対策

## インドネシア EFB 廃棄物による紙パルプ製造事業

国際協力機構(JICA)は6月30日、「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」において株式会社ピーアイシー(東京都台東区、日高良治代表取締役)が提案する「パーム油産業の EFB 廃棄物による紙パルプ製造事業にかかる案件化調査」(インドネシア共和国)を採択しました。

世界第1位のパーム油生産国であるインドネシアでは、パーム油の生産時に排出される空果房(Empty Fruit Bunch=以下、EFB)が煙害規制により焼却できずに破棄されており、EFBの腐敗により温室効果ガス・悪臭などを発生させて環境問題となっています。

こうした現状に対し、(株)ピーアイシーは、製品「タイゼン式非木材処理プラント」を活用してEFBを紙パルプ化し、梱包材などの段ボール原紙製造企業に販売する事業を提案しました。この製品の最大の特長は、非木材原料から、低コストで環境負荷も低く、効率の良い紙パルプが製造できることです。



### EFB 廃棄物から紙パルプを製造

本案件化調査は、本製品の活用による環境問題への効果を測定し、実現性のあるビジネスモデルを設計することを目的とします。

この調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」として実施されます。案件化調査は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行い、製品・技術をODA事業に活用するための情報収集・事業計画立案等を支援することを目的としたもので、2012年度から実施されており、2016年度第1回公示分は本年2月に公示を行いました。117件の応募のうち35件が採択され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

参考:(プレスリリース)案件化調査2016年度第1回公示の採択結果について

URL:<http://www.jica.go.jp/announce/notice/investigation/index.html>

#### 【本件に関する問い合わせ先】

JICA 国内事業部中小企業支援調査課 長富(案件担当)、橋本(広報担当)

**PRESS RELEASE**



独立行政法人国際協力機構  
2016年7月19日

---

TEL 03-5226-3243 e-mail : [pdvfs@jica.go.jp](mailto:pdvfs@jica.go.jp)